

前回審議会からの主な修正事項

第3回 下水道審議会資料（資料7） ≪ 改 定 前 ≫	第4回 下水道審議会資料（資料8） ≪ 改 定 後 ≫
1) 西東京市下水道プラン<改定版>（素案）の構成について	
<p>第1章 計画改定の背景</p> <p>第2章 下水道を取り巻く現状</p> <p>第3章 基本理念、基本方針及び主要な施策と目標の設定 → 第4章へ 目標の設定は第5章に包含</p> <p>第4章 これまでの取組内容を踏まえた今後の施策の展開 → 第3章・第5章に分割</p> <p>第5章 下水道財政の見通し及び健全な下水道経営 → 第7章へ</p> <p>第6章 整備目標</p> <p>第7章 総合計画 → 第8章 中・長期計画の取組内容に変更</p> <p>第8章 経営戦略 → 第9章へ</p> <p>巻 末 関連資料（パブリックコメントの概要、用語解説）</p>	<p>第1章 計画改定の背景</p> <p>第2章 下水道を取り巻く現状</p> <p>第3章 短期計画における取組の成果</p> <p>第4章 基本理念及び基本方針の設定</p> <p>第5章 取組内容などを踏まえた今後の施策の展開</p> <p>第6章 整備目標</p> <p>第7章 下水道財政の見通し及び健全な下水道経営</p> <p>第8章 中期計画・長期計画の取組内容</p> <p>第9章 経営戦略</p> <p>巻 末 関連資料（パブリックコメントの概要、用語の説明）</p>
2) 整備目標について	
<p>The diagram shows a vertical flow from 'Future-oriented, safe and comfortable water environment creation' to four main goals: 'Sustainable maintenance', 'Safety and peace of mind', 'Good environment', and 'Sound sewerage management'. Each goal is linked to specific strategies and implementation measures. For example, 'Sustainable maintenance' includes 'Maintenance' and 'Renovation', leading to 'Preventive maintenance' and 'Renovation of sewerage facilities'.</p>	<p>The diagram shows a similar vertical flow but with revised strategies. 'Sustainable maintenance' now focuses on 'Stock management plan-based aging对策' and 'Proper facility management'. 'Safety and peace of mind' includes 'Flood对策', 'Earthquake対策', and 'Large-scale disaster対策'. 'Good environment' includes 'Water environment protection' and 'Sound management of sewerage business'. 'Sound sewerage business' includes 'Sound management of sewerage business' and 'Transparency of sewerage business'.</p>

３）審議会からの指摘・意見を踏まえた素案への反映事項・項目	
指摘事項・意見	反 映 箇 所
①記載内容に専門用語が多くわかりづらい。	巻末資料 ・専門的な用語、難しい用語には、注釈を付け、巻末の「用語の説明」で解説を記述する予定です。
②経営指標について、示される指標値が高いほうがいいのか低いほうがいいのか明記したほうが良い。	・第３章「短期計画における取組の成果」 35 ページ、36 ページにおいて、適正な指標値の動向（傾向）を表記しています。
③管きよの改築・更新には、莫大な費用を要するため、どのように経費を抑えていくか。	・第５章「取組内容などを踏まえた今後の施策の展開」 42 ページ、「調査の継続、新たな点検・調査方法の検討」において、デジタル技術などを活用した新たな効率的な調査方法の検討すること、また「計画的・効率的な改築・更新の実施」において、年間の投資額のばらつきを抑制するため、投資の平準化を行っていくことを記載しています。
④市内に多数のマンホールがある。点検頻度に伴い、増加する補修費用の抑制手法の検討が必要。	・第５章「取組内容などを踏まえた今後の施策の展開」 43 ページ、「予防保全型の維持管理」において、調査の箇所の優先順位や調査・点検サイクルなども検討していくことを記載しています。
⑤時間 100mm を超える、豪雨に対する想定も必要。	・第５章「取組内容などを踏まえた今後の施策の展開」 45 ページ、「石神井川・白子川流域の雨水流出先の整備」の中で、東京都に対する河川改修や地下調節地事業の早期整備の要望、また市が施行する、白子川上流六号雨水幹線の整備に向けた検討などの対策に向けた取組を記載しています。
⑥現在は、安定的な運営に見えるものの、今後、市が行う事業の実施に向け、事業費が増加していくことが想定されるので、補助金の交付を国や東京都へ強く要望する旨を記載したほうが良い。	・第５章「取組内容などを踏まえた今後の施策の展開」 50 ページ、「健全な下水道経営」に包含しているものと考えています。補助金などの確保については、国や東京都に対する予算要望の機会などを捉えて、別途要望していきます。
⑦下水道ＢＣＰの見直しは、具体的にどのように行っていくのか。	・第５章「取組内容などを踏まえた今後の施策の展開」 47 ページ、「下水道ＢＣＰの対応力強化」において、これまでの取組に加え、新たな取組として、「ライフラインの被害の早期回復に向けた、行動訓練等より実効性の高い下水道ＢＣＰ訓練の実施を検討します」を記載しています。